

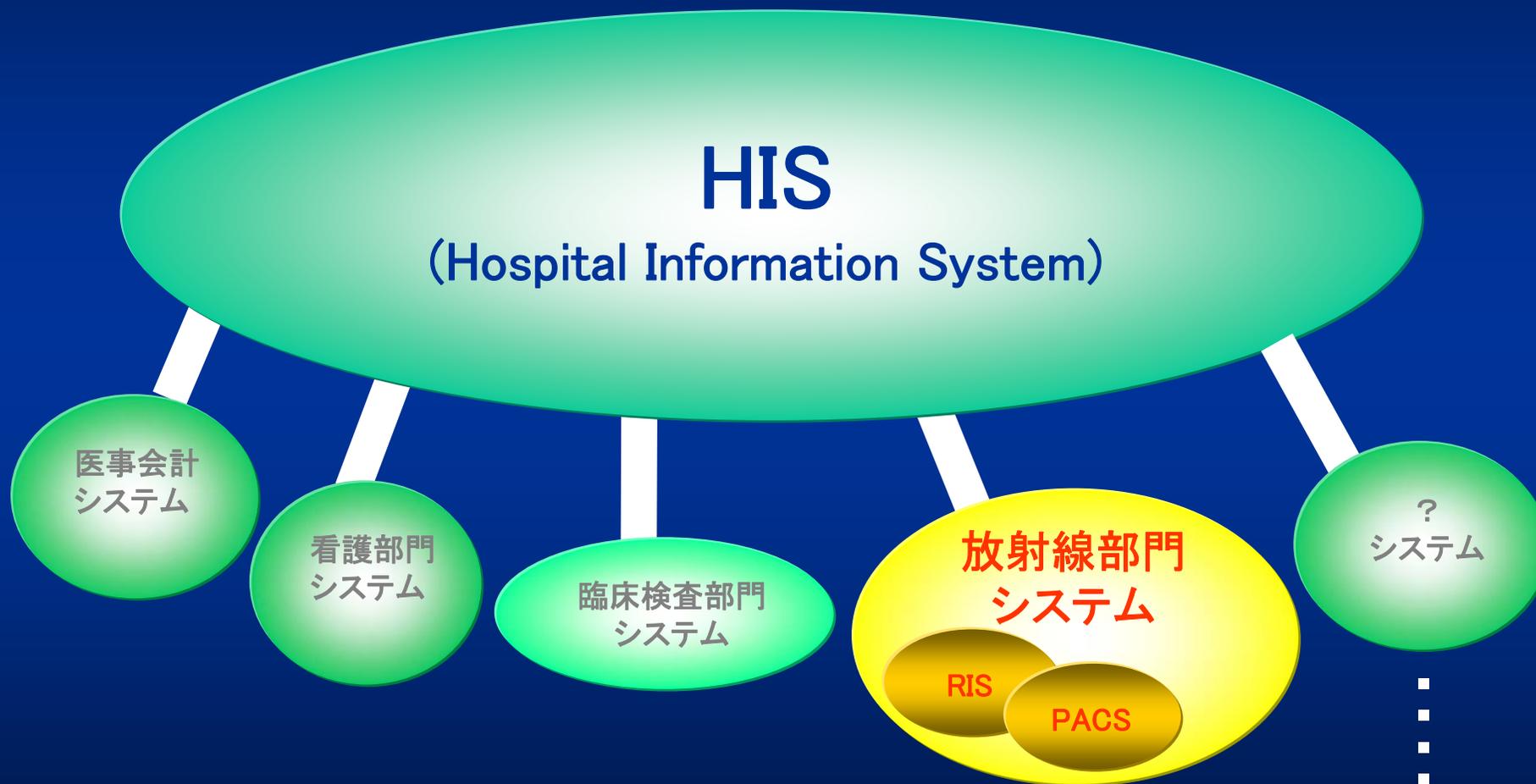
IHEの使用方法（初級編）

豊橋市民病院 放射線技術室 原瀬正敏
IHE-J渉外委員

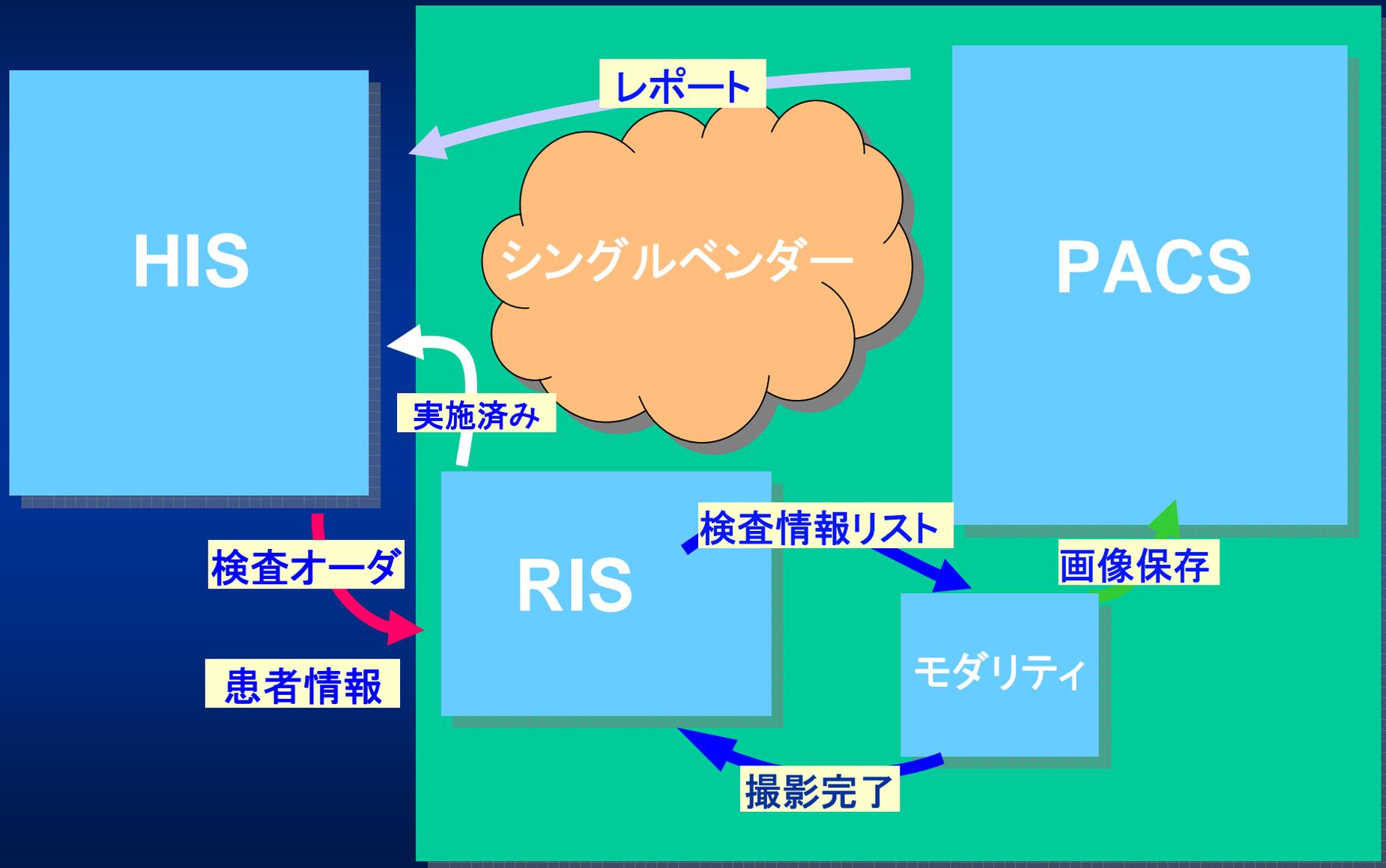
目的

医療情報システムの構築する際の問題
点を取り上げ、これらを解決する方法として
IHE-Jの取り組みを紹介する

医療情報システムの考え方



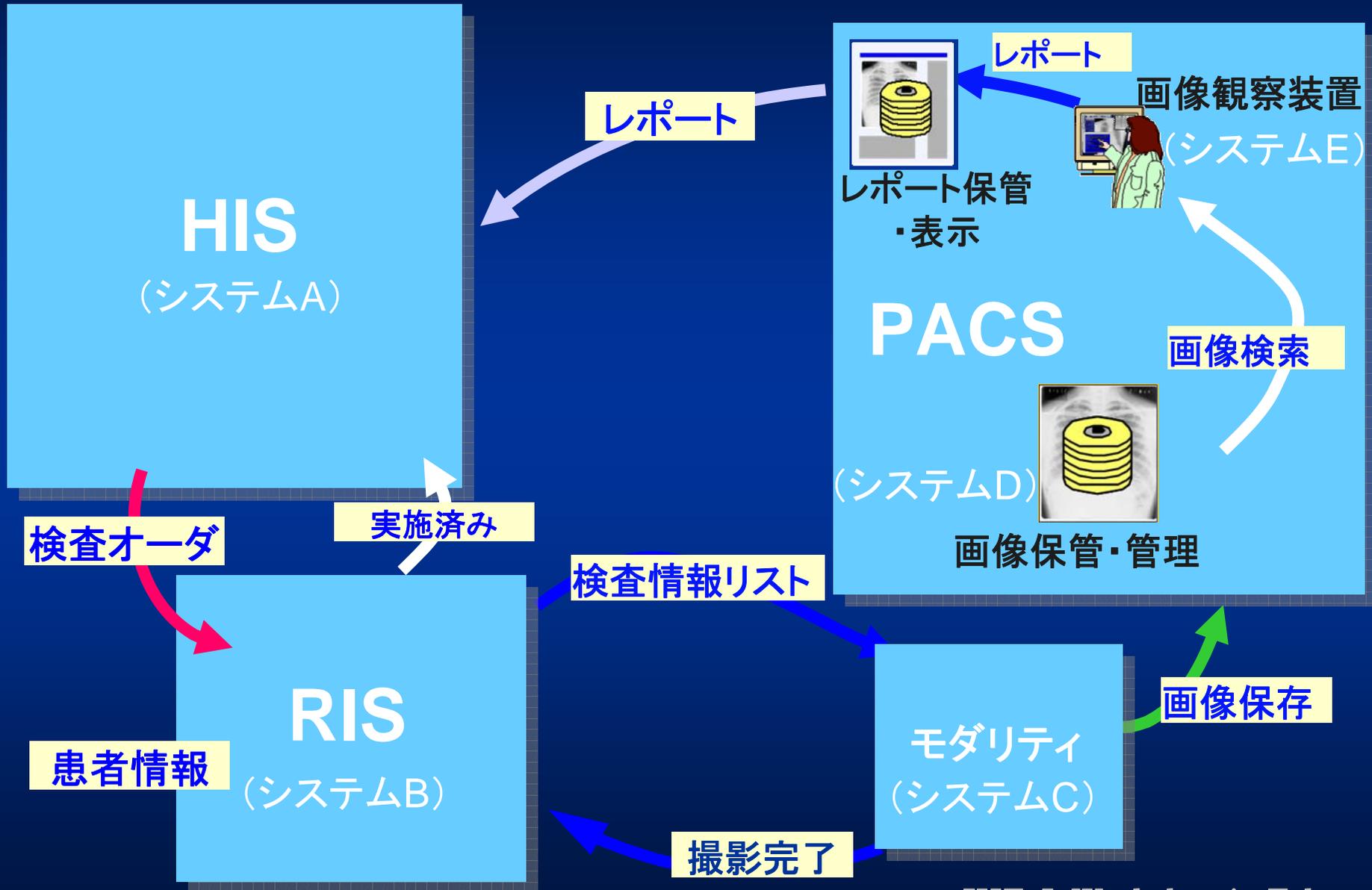
従来の放射線部門情報の流れ



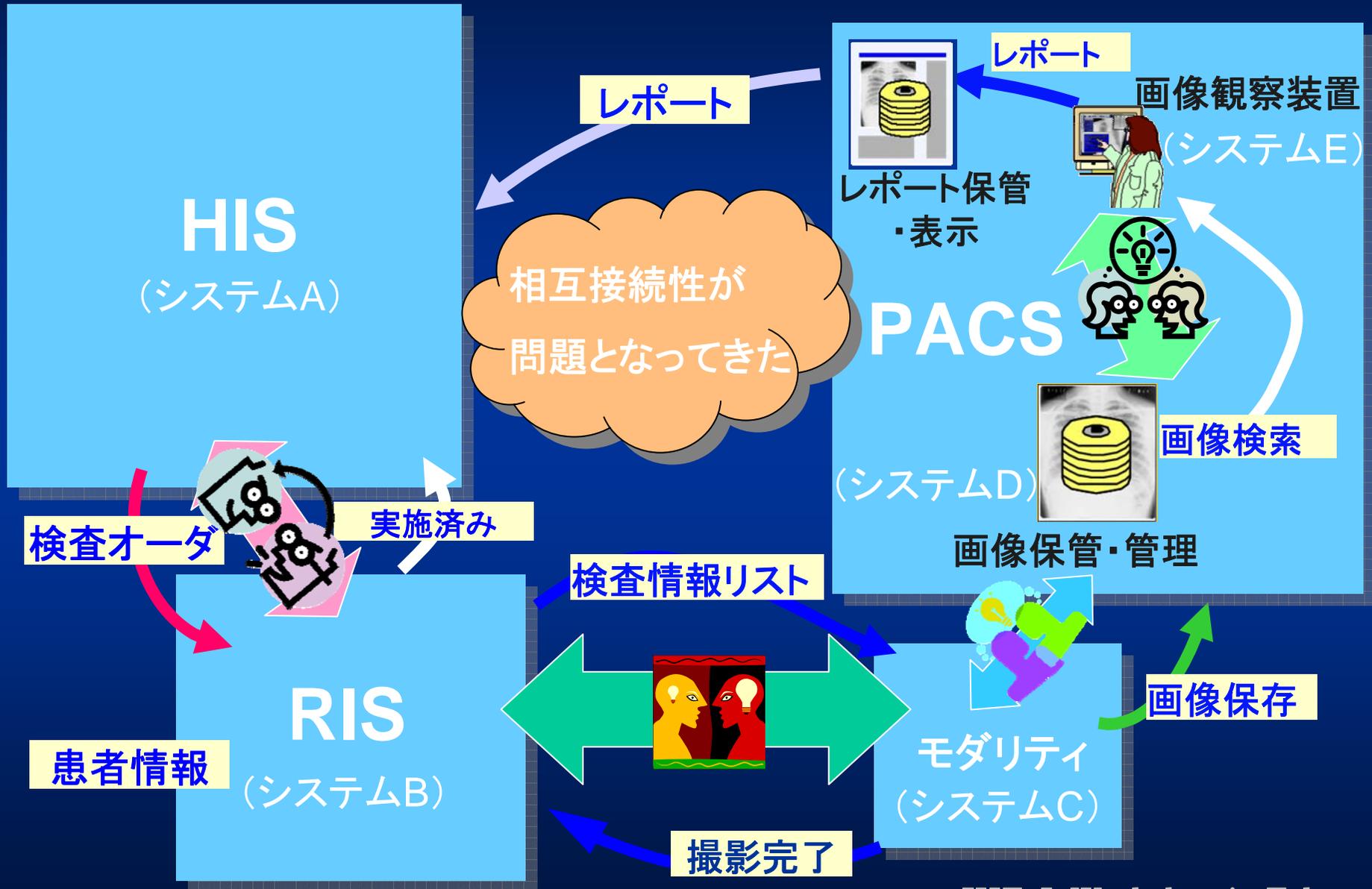
マルチベンダー化

- ベンダーの得意不得意が見えてきた
- ユーザーインターフェイスで選択
- 将来のシステム更新に対応

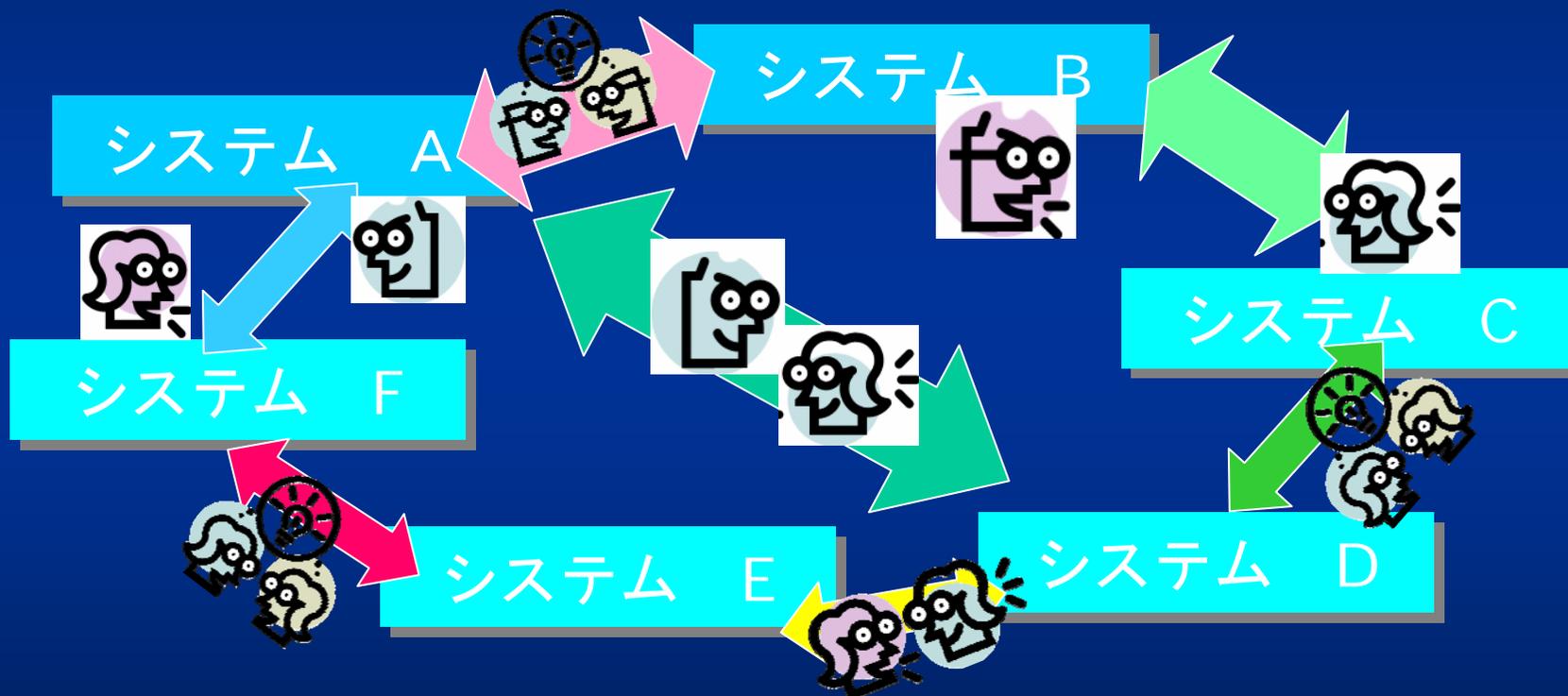
マルチベンダー化



マルチベンダー化(システム接続)



標準規格の利用



IHE-JではHL7, DICOMなどの標準規格を適用している

システム仕様書作成

今まではシステム化を行う際に、
現状行われているワークフローを
システム化しようとしてきた



結果

仕様書を作成する際に幾つものシナリオを
書かなければならなかった

システム仕様書作成

従来

- 一般撮影
 - ××の場合
 - ○○の場合
 - △△の場合
 - □□の場合
- CT
 - ××の場合
 - ○○の場合
 - .
 - .
 - .

IHE利用

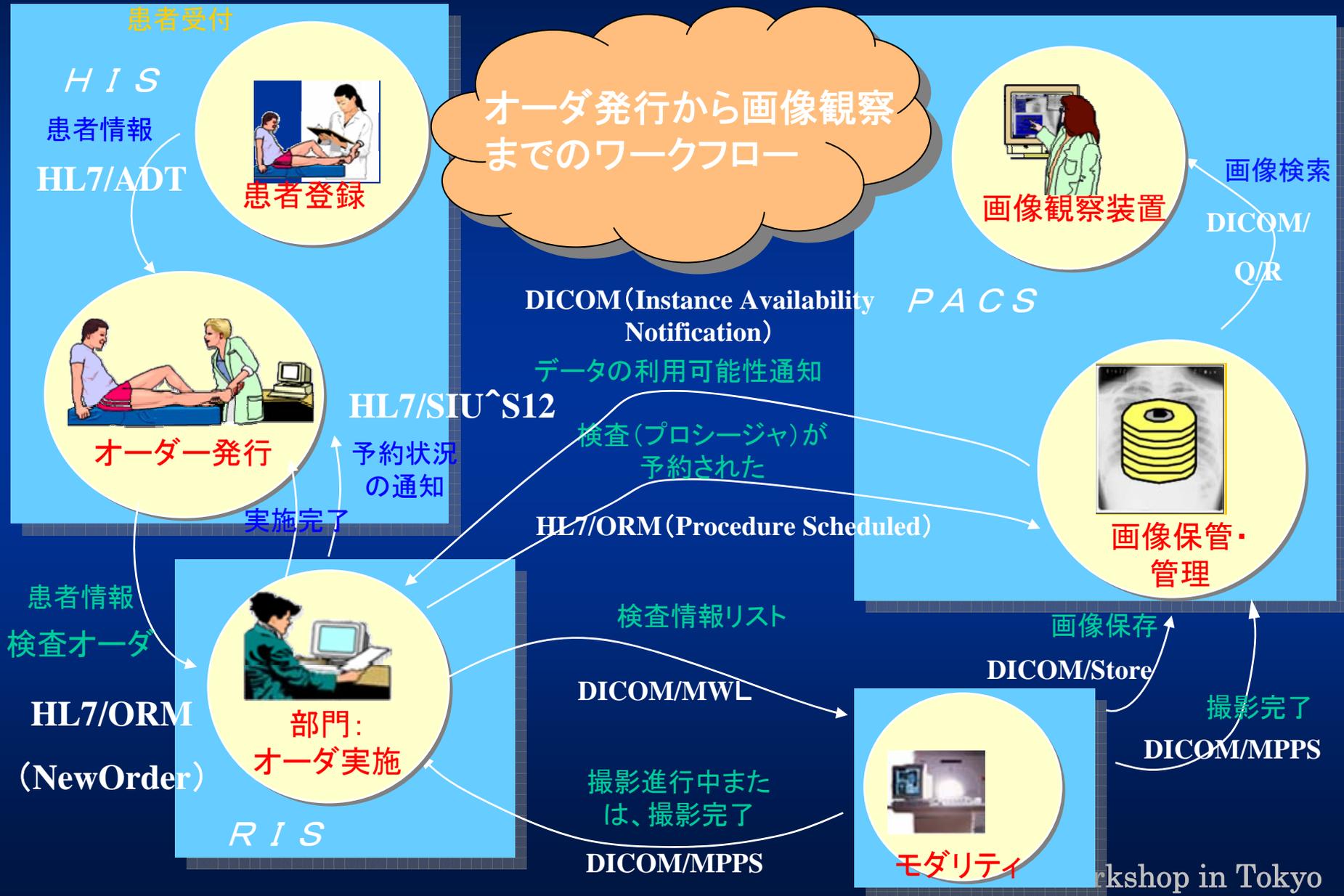
- 通常運用のワークフロー
(IHE統合プロファイルSWF)
SWF: Scheduled Workflow
- 例外については別途記述



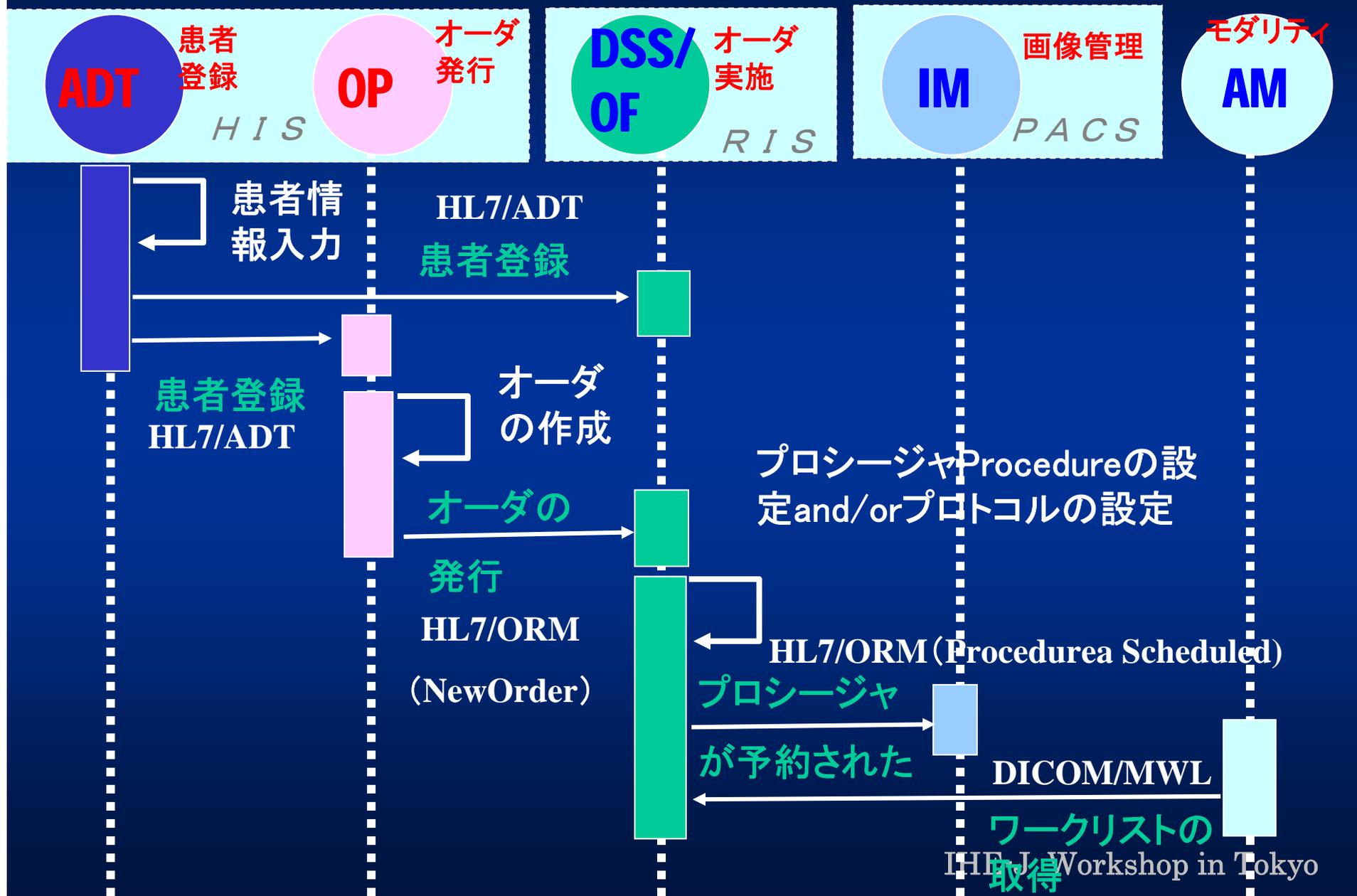
説明が簡単
で
ベンダーに
伝わりやすい

SWFとは？

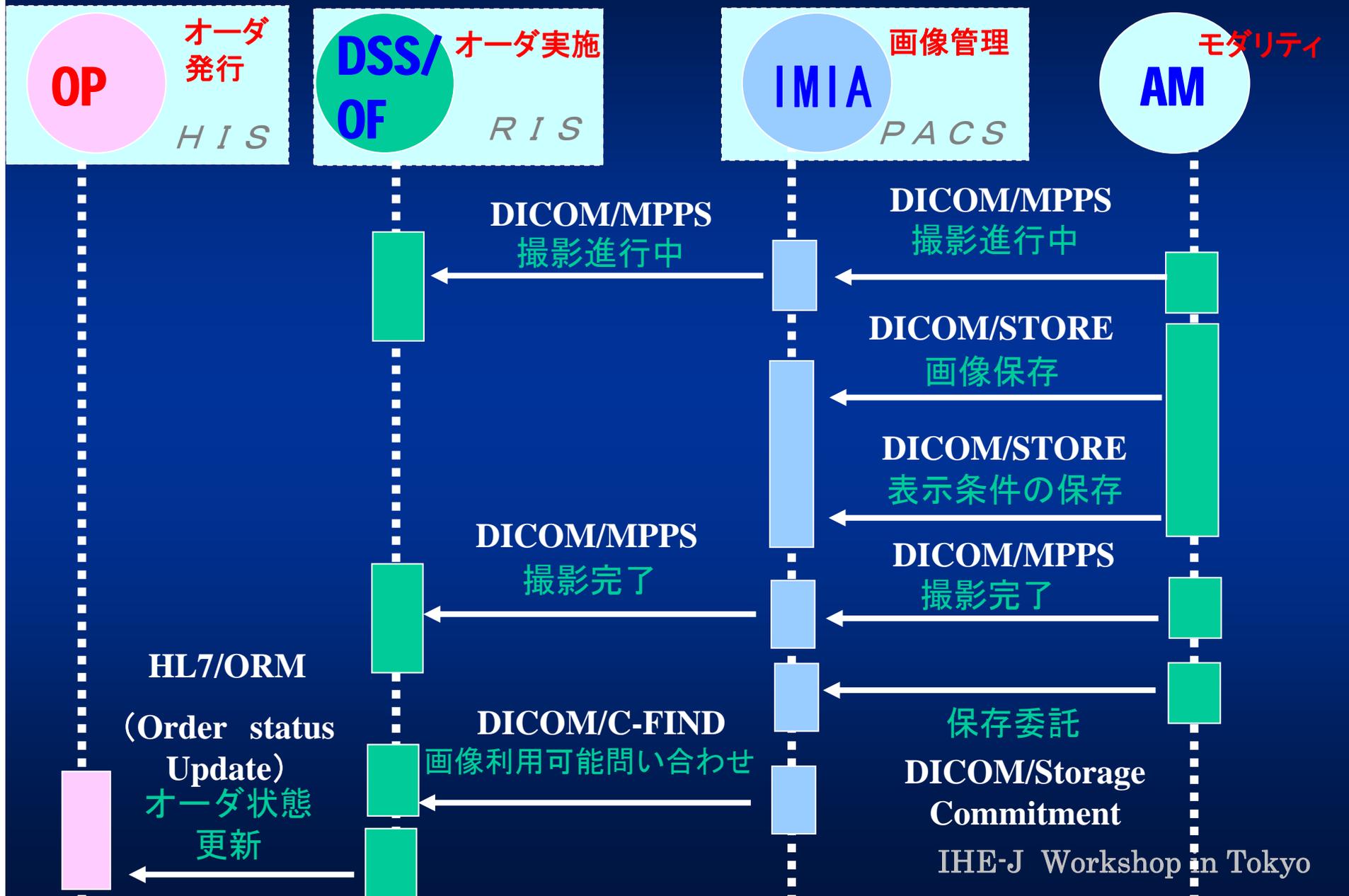
オーダー発行から画像観察
までのワークフロー



相互作用図(ユースケースごとの処理の流れ)



相互作用図(ユースケースごとの処理の流れ)



情報の更新・修正

- フィルムレスなどにより、患者情報が簡単に書き直せなくなった
- システム化が進み、各システムが患者情報を持つようになった
- 救急撮影など緊急時撮影の氏名不詳患者の対応

救急撮影時の問題点

氏名不詳患者の撮影時における情報の修正

従来

- HIS修正
- RIS修正
- PACS修正



システム毎の修正が必要

IHE利用

- 患者情報の整合性確保
統合プロフィール(PIR)
の利用

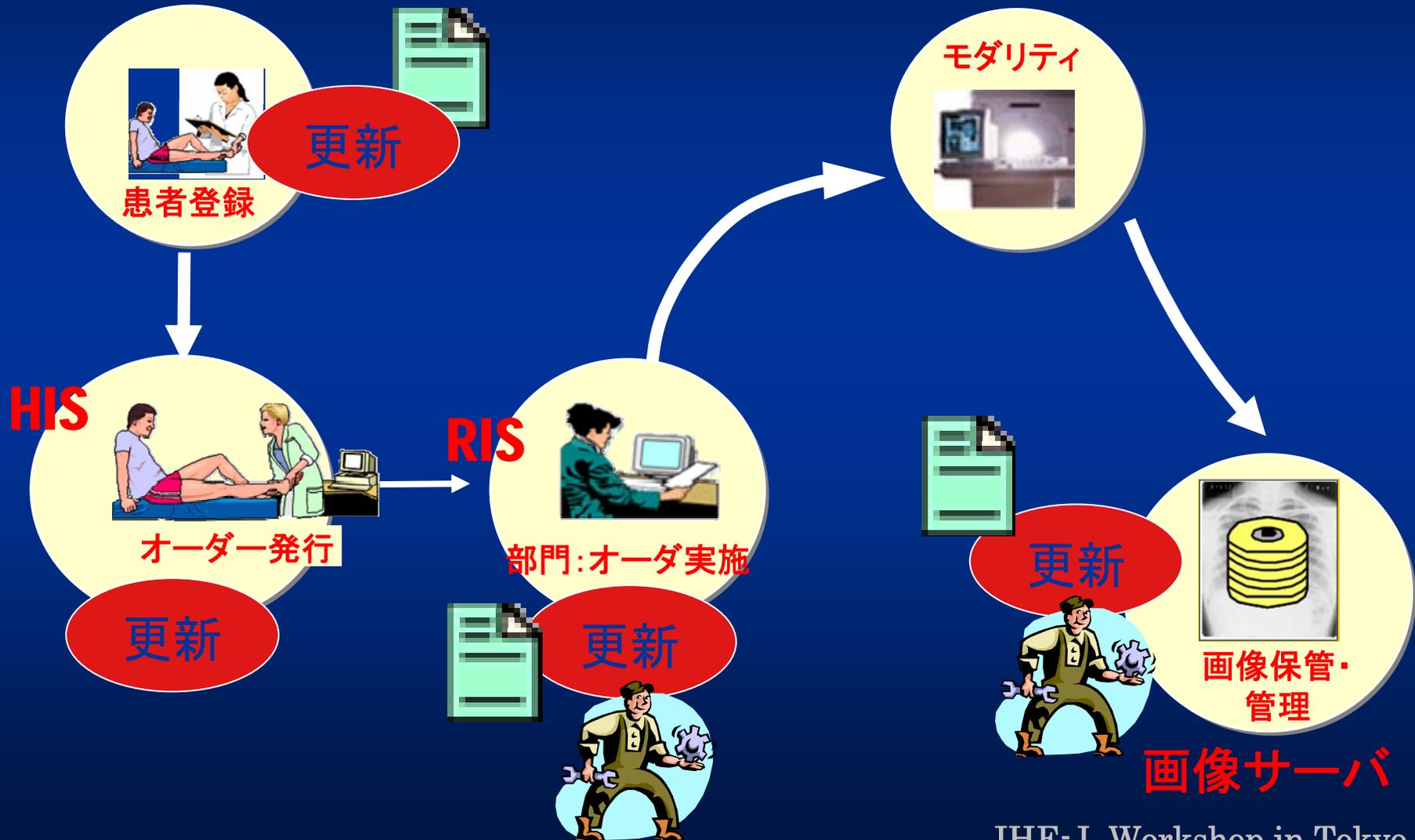
(PIR: Patient Information
Reconciliation



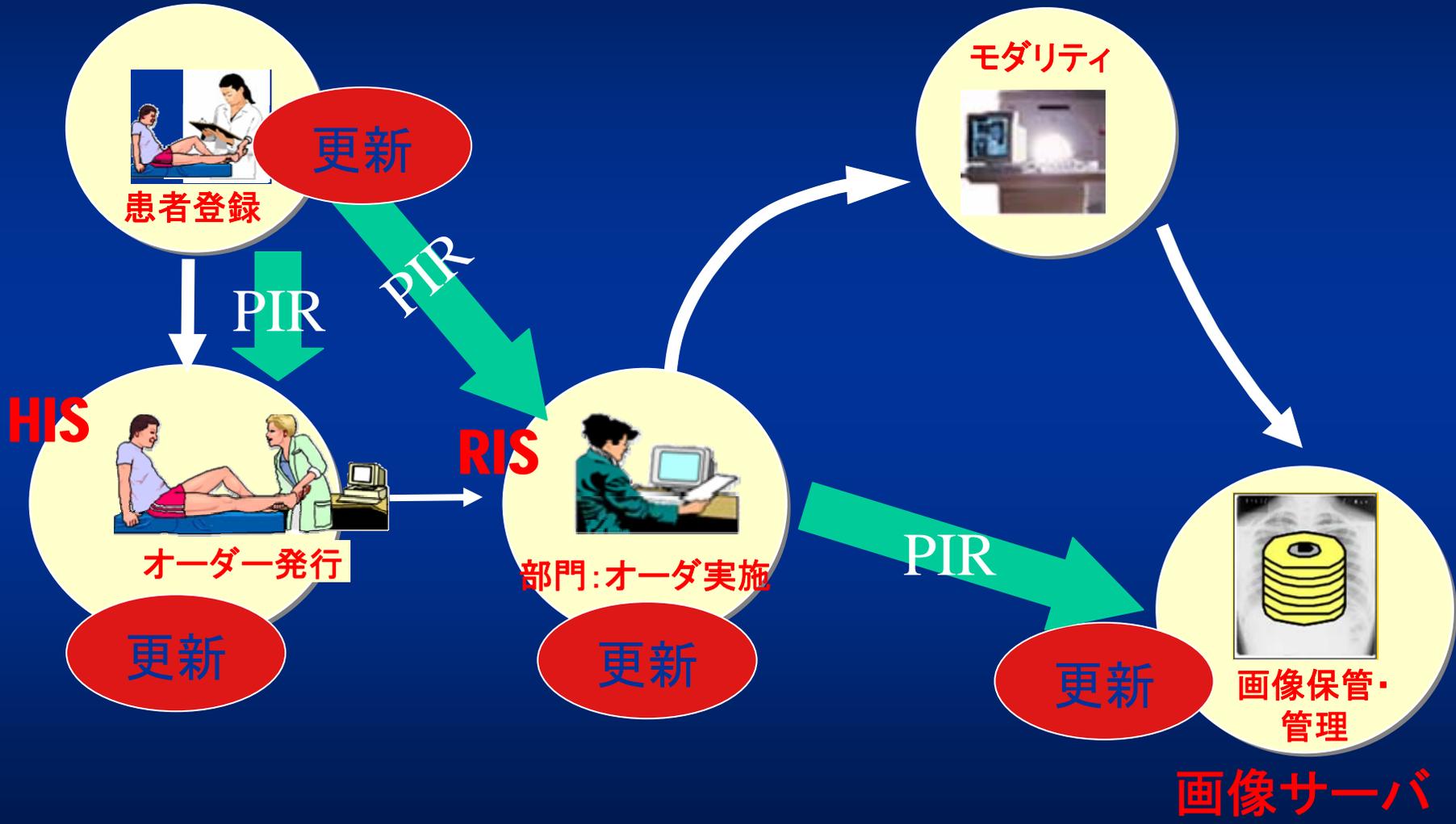
一括での修正が可能

従来の場合

氏名不詳の救急患者の撮影



IHE (PIR) 利用の場合



相互接続性の確保



さまざまなシナリオの中で統合プロフィールが用意されている

統合プロフィール

SWFのようなワークフローのプロファイルをはじめ
15のプロファイル4つの大別が定義されている

- ワークフロー系
- コンテンツ系
- 読影レポート系
- 基盤系

IHE-Jとは

- 標準規格を積極的に適用しているのでシステム構築を容易にさせる
- 標準的なワークフローを提供し、仕様書作成のサポートをする
- 統合プロファイルを使用することによって、問題の解決へつながる